

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	26	施策名	都市基盤の維持・強化	
小施策コード	26-2	小施策名	安全・快適な道路環境の向上	
小施策 主管課等コード	081000	小施策 主管課等名	道路管理課	
評価責任者名	近藤 春彦		内線番号	2710
評価シート作成者名	佐藤 雅春		内線番号	2772

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
市道改良率*	↑	%	73.9	74.4	74.6	74.8	75.7
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↑	%	74.2	74.7	78.1	80.0	80.0
水道管路の耐震化率	↑	%	23.3	24.9	25.5	29.6	34.6
汚水処理人口普及率（処理区域内人口/行政区域内人口）	↑	%	95.0	95.2	95.3	96.0	97.8
面的整備による生活環境整備率（整備済路線延長/整備計画路線延長）	↑	%	29.0	30.5	31.7	63.0	97.0

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

\* 28年度に新しく追加した指標。

## Step 2 小施策の全体像

### 小施策の概要等（構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり）

対象（誰（何）を対象として行うのか）	意図（対象をどのようにしたいのか）
道路利用者	道路の整備及び適切な維持管理により、道路利用者の安全で快適な通行が確保され、道路環境の向上が図られる。
現状と課題	<p>道路については、老朽化による穴ぼこ等の事故が増加しており、舗装等の損傷箇所の早期発見・対応が課題となっている。また、橋りょうについては、今後老朽化が急速に進行することから、安全性が問題になるとともに補修費用の増加が懸念される。一方、冬期間の安全な交通環境の確保も課題となっている。</p> <p>通学路や生活道路においては、歩道の未整備の区間、急カーブ及び狭い幅員などにおける、安全確保が課題となっている。</p>
取組の方向性	緊急性、重要性、地域性などを十分に考慮しながら道路の新設や改良を行うとともに、効率的で適正な維持管理と橋りょうの計画的な修繕を進める。また、冬期間における道路の除排雪の更なる充実を図るほか、歩行者の通行において特に危険な箇所や通学路を重点的に整備するなど、安全で快適な道路環境を確立する。

## Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
市道改良率	↑	%	73.9	74.4	74.6	74.8	75.7
市道の除雪率	↑	%	96.5	97.0	97.3	98.0	100.0
橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を完了した橋梁数	↑	橋	0	3	3	48	88

（↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標）

## Step 4 市民ニーズの把握

盛岡市まちづくり評価アンケートによると、快適で暮らしやすい居住環境が「あまり快適だとは思わない」「全く快適だとは思わない」の2項目の合計が、全体の2割近くに上っていることから、より一層の施策の推進が求められている。

## Step 5 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	市内の幹線道路や生活道路の整備及び道路・橋りょう等の補修を計画的に行う必要がある。	70
	国・県・ 他自治体	国道，県道の整備も必要であり，市統一要望や同盟会等組織により，国，県に整備の要望を行っている。	20
	市民・ NPO	市民からの用地等の協力を得ながら，私道，狭あい市道整備及び市道認定の促進を行う必要がある。 間口等除雪については，市で貸出しする小型除雪機を活用する等，市民協働による対応が必要となる。	10
	企業・ その他		

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

市内の道路のうち，市道の占める割合が7割程度であるため。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- ・ 「道路橋梁整備促進同盟会等事務事業」「道路対策協議会事務事業」において，国への要望活動を行い，交付金の安定的な予算確保につなげる。
- ・ 「橋りょう補修事業」「道路橋りょう維持管理事業」等において，優先順位を定め，計画的かつ効率的に道路の整備や補修を行う。

### 2 1の改革改善案の実施状況

（A：着手済，B：平成29年度に着手（予定含む），C：未着手または見送り）

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
国への要望活動を行い，交付金の安定的な予算確保につなげる。	国への要望活動を毎年行い，交付金の安定的な予算確保を図った。	A
優先順位を定め，計画的かつ効率的に道路の整備や補修を行う。	「橋梁長寿命化修繕計画」を策定し，優先順位を定め，計画的に橋梁補修を行っている。 また，個別施設計画（道路）を平成29年度に策定し，計画的な整備・維持補修を行う。	A

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合，その原因

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

- ・ 市道改良率が上がった。
- ・ 市道の除雪率が上がった。
- ・ 老朽化した橋りょうや道路の補修を行い、市民の通行の安全を確保した。

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 未舗装道路において、舗装を行ったことによる。
- ・ 道路除排雪事業において、市民要望を踏まえて除雪指定路線を延長させたことによる。
- ・ 道路や橋りょうの補修において、優先順位を踏まえながら計画的に補修したことによる。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題（課題がある場合に記載）

国の交付金の安定的な財源確保を行うため要望活動を行う。

### 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策における現状の問題点

道路整備や橋りょう補修等の予算の安定的な確保が困難となっている。

#### (2) 現状の問題点が生じている原因

道路の整備や補修の要望が増加している。

#### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

道路の整備や補修において、優先順位を定め、計画的かつ効率的に行う。

## Step 8 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1で記載した事業についてその理由

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step 9 Step 7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 「道路橋梁整備促進同盟会等事務事業」「道路対策協議会事務事業」において、国への要望活動を行い、交付金の安定的な予算確保につなげる。
- ・ 「橋りょう補修事業」「道路橋りょう維持管理事業」等において、優先順位を定め、計画的かつ効率的に道路の整備や補修を行う。